

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和6年6月20日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 千葉県千葉市若葉区桜木2-1-8 氏 名 スマート株式会社 代表取締役 大沼唱司  (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 043-301-6650</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	都内各所（八王子市を除く）
事業場の所在地	都内各現場（八王子市を除く）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：建設工事業
②事業の規模	前年度の請負金額 1,173,277,019円
③従業員数	23人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p><b>解体工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ コンクリートがら、廃プラスチック類、木くず、アスファルト・コンクリートがら → <b>委託処理</b></li> <li>→ ガラス、陶磁器くず、繊維くず、がれき → <b>委託処理</b></li> <li>→ ガラス及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物) → <b>委託処理</b></li> </ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(営業所所長)  
処理計画統括責任者

(事務課)  
処理計画作成担当

(工事部)  
廃棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	7.645 t	190.12 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	5.00 t	165.00 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度の取組みを引き続き実施する。 品目別ごとに数量を計画し、発生する廃棄物について可能な限り分別・再利用に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず：解体過程で生ずる木材は効率的に分別を行い廃棄物の排出の抑制を行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：解体過程で生ずる廃棄物を出来るだけ細分化し分別処理を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
排出量	1.098 t	27.20 t	135.312 t	1,534.18 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
排出量	1.00 t	15.00 t	100.00 t	1,200.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
排出量	6.00 t	4.44 t	26.454 t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
排出量	3.00 t	2.50 t	20.00 t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	7.645 t	190.12 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.24 t	164.40 t
	再生利用業者への 処理委託量	7.645 t	190.12 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 再利用に努め、最終処分の廃棄物の削減に努める。 産業廃棄物の処理は、委託契約書を締結した業者のみに委託することを徹底 している。また、マニフェストにより最終処分までの工程を確認している。		

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
全処理委託量	1.098 t	27.20 t	135.312 t	1,534.18 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.264 t	8.07 t	6.90 t	28.00 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	1,534.18 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 3

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
全処理委託量	6.00 t	4.44 t	26.454 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	4.44 t	7.946 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	6.00 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	5.00 t	165.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.15 t	140.00 t
	再生利用業者への処理委託量	5.00 t	165.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>分別解体を心掛け、品目別に仕分けをし、分別する。  リサイクル(再利用)できる物は分別を徹底する。  再利用に努め、廃棄物の削減に努める。  可能な限り優良認定処理業者から選定する。</p>			
※事務処理欄			

## (第5面) - 2

【目標】				
産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	レンガ破片など	コンクリート片
全処理委託量	1.00 t	15.00 t	100.00 t	1,200.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.20 t	4.00 t	5.00 t	20.00 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	1,200.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第5面) - 3

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	
全処理委託量	3.00 t	2.50 t	20.00 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	2.50 t	4.50 t	- t
再生利用業者への処理委託量	3.00 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。